

第 1 部

後期基本計画全体の考え方

第1章 計画策定にあたって

第1節 計画の目的

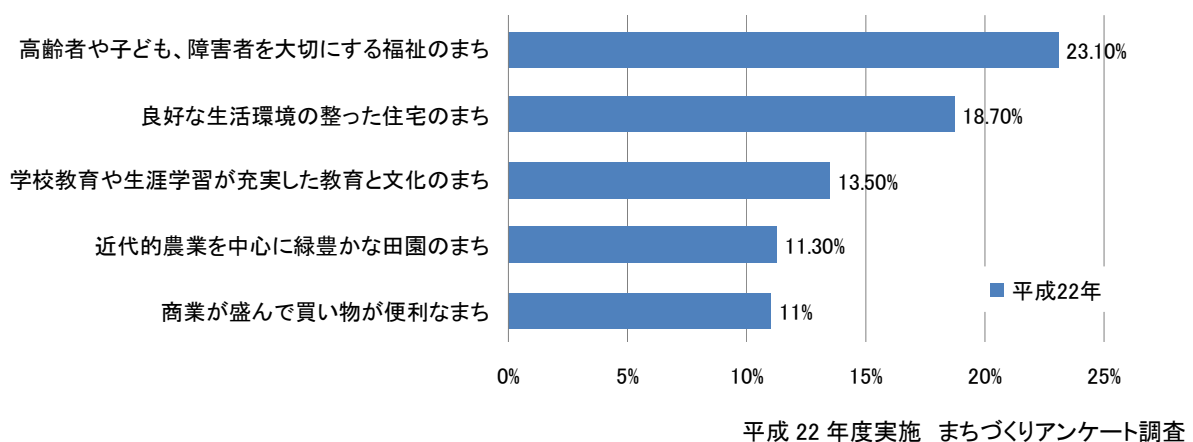
本計画は、平成18年策定の「第4次上里町総合振興計画」の「後期基本計画」にあたる計画です。本計画の目的は、「前期基本計画」を引き継ぎ、「人と自然が響きあう“ハーモニーガーデン 上里”」の実現へのガイドラインとなることです。

これまで、上里町は、平成18年に「第4次上里町総合振興計画」を策定し、「人と自然が響きあう“ハーモニーガーデン 上里”」を目指し、さらなるまちづくりを進めてきました。各小学校区域の児童館整備を始めとする子育て支援や上里町男女共同参画推進センターを拠点とした男女共同参画への取り組み、公共下水道事業の整備、神保原駅南土地地区画整理事業の工事完了、都市計画道路の整備、生涯学習の推進等によって、まちづくりはハード・ソフトの両面から着実な成果を得ています。

少子高齢化が進み、生活様式の見直し、防災への取り組みが求められる現在、本町においては、安心して暮らせる福祉の充実とともに、持続可能な「公共」のあり方の検討、地域特性に基づいた地域産業の振興の検討がまちづくりの課題となっています。また、心の豊かさ、生活の質を重視する傾向が一層強まる中で、地域社会に根付いた学校教育・生涯学習の充実や生活基盤の整備等を推進し、文化的で豊かな個性あるまちづくりが強く求められています。

平成23年1月に実施しましたまちづくりアンケート調査においても、同様に、町民が安心して暮らせるまちづくりへの関心の高さが伺えます。項目として、「高齢者や子ども、障害者を大切にする福祉のまち」(23.1%)、「良好な生活環境の整った住宅のまち」(18.7%)、「学校教育や生涯学習が充実した教育と文化のまち」(13.5%)等が挙げられています。

図表1 まちづくりアンケート調査にみるまちづくりの方向性



第 2 節 計画の役割

この計画は、平成 18 年策定の「第 4 次上里町総合振興計画前期基本計画」を受けて、平成 24～28 年度までの上里町のまちづくりの方向性を示すものです。

その役割は以下の二つとなっています。

住民にとっての第 4 次上里町総合振興計画後期基本計画の役割

住民が主体的にまちづくりに参画するための行動指針となります。

町にとっての第 4 次上里町総合振興計画後期基本計画の役割

これからの町の目標とそれを実現するための手段としての施策を長期的・総合的に定めます。また、国・県・広域圏の施策・事業と調整・連携を行うための指針となります。

第 3 節 計画の構成と期間

この計画は、基本構想（10 年計画）と前期基本計画（5 年計画）及び後期基本計画（5 年計画）からなっています。その構成と期間は次のとおりです。

図表 2 基本構想と基本計画とのつながり

